

# 令和8年度 第1回 地域緩和ケア症例検討会 参加者アンケート結果

日時：令和8年4月8日（水）19：00～

症例発表：訪問看護STきずな

参加者： 32名

会場： 荘内病院 講堂

司会者： 中村 秀幸

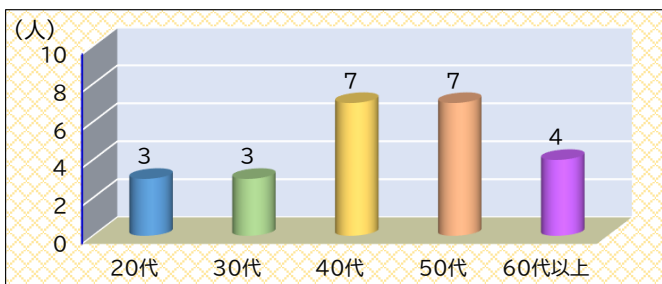
症例：直腸がん末期、骨転移、多発転移（63歳 女性）

（会場： 26名、 Zoom 6名） アンケート 24名

## Q1. あなたご自身について

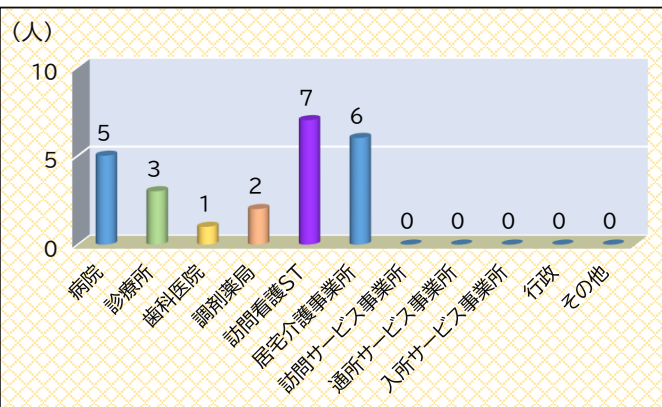
### 1-1) 年齢

|       |    |
|-------|----|
| 20代   | 3  |
| 30代   | 3  |
| 40代   | 7  |
| 50代   | 7  |
| 60代以上 | 4  |
| 計     | 24 |



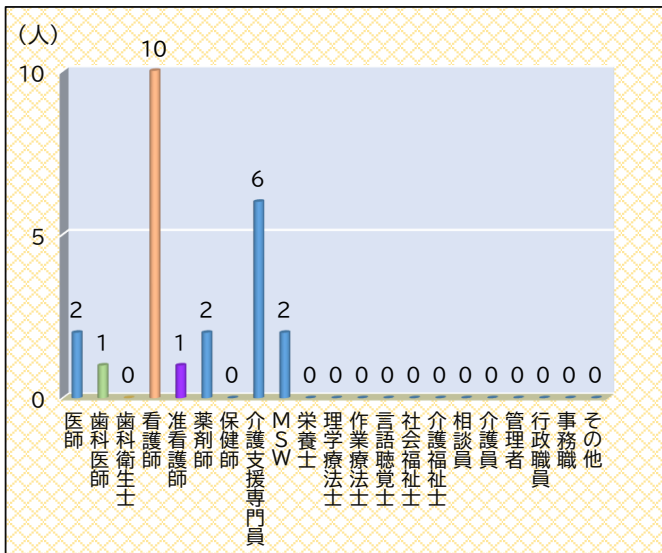
### 1-2) 勤務先

|           |    |
|-----------|----|
| 病院        | 5  |
| 診療所       | 3  |
| 歯科医院      | 1  |
| 調剤薬局      | 2  |
| 訪問看護ST    | 7  |
| 居宅介護事業所   | 6  |
| 訪問サービス事業所 | 0  |
| 通所サービス事業所 | 0  |
| 入所サービス事業所 | 0  |
| 行政        | 0  |
| その他       | 0  |
| 計         | 24 |



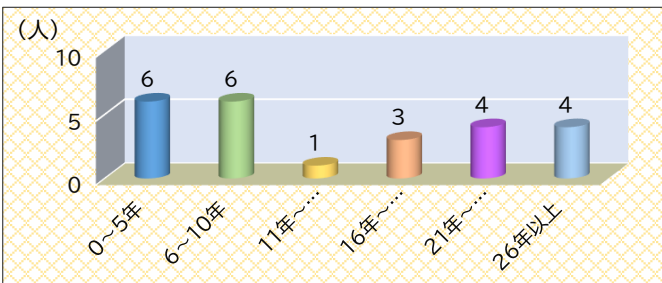
### 1-3) 職 種

|         |    |
|---------|----|
| 医師      | 2  |
| 歯科医師    | 1  |
| 歯科衛生士   | 0  |
| 看護師     | 10 |
| 准看護師    | 1  |
| 薬剤師     | 2  |
| 保健師     | 0  |
| 介護支援専門員 | 6  |
| M S W   | 2  |
| 栄養士     | 0  |
| 理学療法士   | 0  |
| 作業療法士   | 0  |
| 言語聴覚士   | 0  |
| 社会福祉士   | 0  |
| 介護福祉士   | 0  |
| 相談員     | 0  |
| 介護員     | 0  |
| 管理者     | 0  |
| 行政職員    | 0  |
| 事務職     | 0  |
| その他     | 0  |
| 計       | 24 |



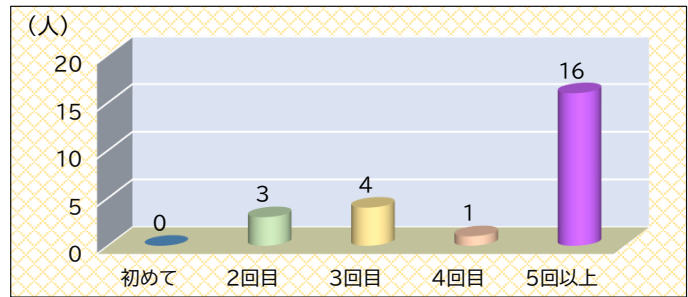
### 1-4) 現在の職業の経験年数

|         |    |
|---------|----|
| 0～5年    | 6  |
| 6～10年   | 6  |
| 11年～15年 | 1  |
| 16年～20年 | 3  |
| 21年～25年 | 4  |
| 26年以上   | 4  |
| 計       | 24 |



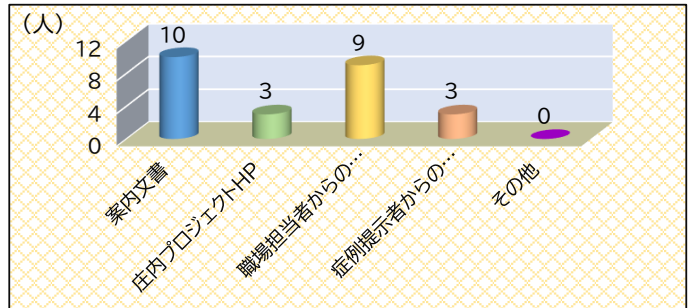
## Q2. 症例検討会参加回数

|      |    |
|------|----|
| 初めて  | 0  |
| 2回目  | 3  |
| 3回目  | 4  |
| 4回目  | 1  |
| 5回以上 | 16 |
| 計    | 24 |



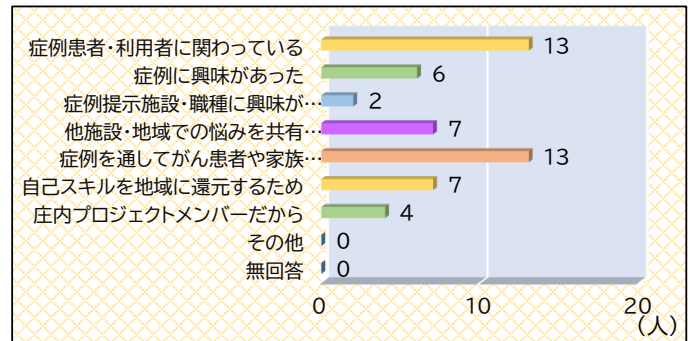
## Q3. 症例検討会を何で知ったか (複数回答)

|             |    |
|-------------|----|
| 案内文書        | 10 |
| 庄内プロジェクトHP  | 3  |
| 職場担当者からの声かけ | 9  |
| 症例提示者からの声かけ | 3  |
| その他         | 0  |
| 計           | 25 |



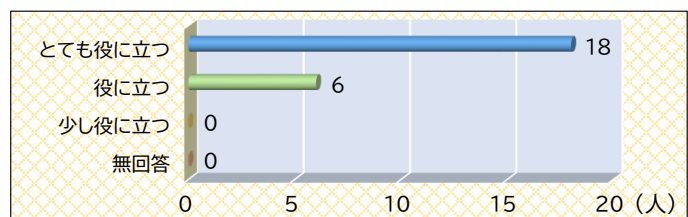
## Q4. 参加の動機 (複数回答)

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 症例患者・利用者に関わっている         | 13 |
| 症例に興味があった               | 6  |
| 症例提示施設・職種に興味があった        | 2  |
| 他施設・地域での悩みを共有し、自施設で役立てる | 7  |
| 症例を通してがん患者や家族の関わりを学ぶ    | 13 |
| 自己スキルを地域に還元するため         | 7  |
| 庄内プロジェクトメンバーだから         | 4  |
| その他                     | 0  |
| 無回答                     | 0  |
| 計                       | 52 |



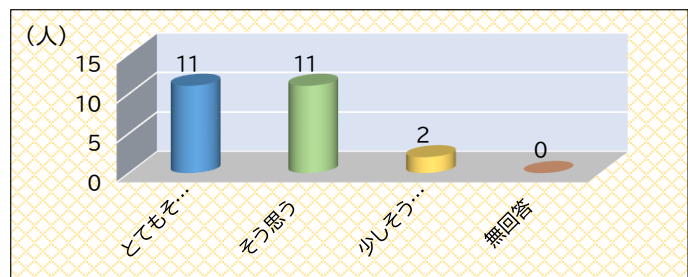
## Q5. 症例検討会の役立ち

|         |    |
|---------|----|
| とても役に立つ | 18 |
| 役に立つ    | 6  |
| 少し役に立つ  | 0  |
| 無回答     | 0  |
| 計       | 24 |



## Q6. 次回の参加意欲

|         |    |
|---------|----|
| とてもそう思う | 11 |
| そう思う    | 11 |
| 少しそう思う  | 2  |
| 無回答     | 0  |
| 計       | 24 |



## Q6. 次回も参加したいと思いますか？の理由

(10件)

- ・他職種それぞれの観点から意見が出て勉強になったから。
- ・日々の業務に活かしたい為
- ・自身のスキルアップにつながるため
- ・経験不足で症例のような利用者がないので、いろいろな症例を聞きたい。
- ・カンファレンスの場で色々な意見を聞かせていただき、役に立つ
- ・他職種他施設の意見をうかがい、学ぶところがある。
- ・今回いつもと違って経済的困窮についてフォーカスされているケースで、制度について自分の知らないことがあったため、まだ勉強が必要だと思いました。
- ・病態の理解が深まる。社会福祉制度を知ることができる。
- ・様々な医療関係者の方々の意見が聞けるため
- ・他施設の関係者の方と直接ディスカッションできるため

## Q7. 困っている症例

(1件)

- ・疼痛管理において終売となったアヘン散からコデイン、モルヒネの変遷で、なかなか状態の改善が見られない。

## Q8. ご意見・ご質問

(9件)

- ・それぞれの視点でどんな行動を担い、どのように連携するべきか、頼ることができる機関は何かがあるか、参考になった。専門用語や制度等、勉強不足でわからないことがたくさんあったが、今後の検討会から知識を吸収して、業務に活かしたい。また、すべての業種がなくてはならないものであることを改めて実感した。
- ・経済的な不安に対してのアプローチ介入方法を勉強することができました。ありがとうございました。
- ・限度額上限について、あえて高い額にすることで結果的に安くなるなど初めて知った。また、窓口負担額が安い外来患者について、相談窓口を知ることができた。
- ・末期のがんの痛みに対して、非薬物療法にどんなものがあるか効果があったものなど教えていただきたいと思いました。
- ・今回の症例で知らない制度や患者背景など学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。
- ・治療、療養費の支払いに困るケースに様々な制度、組み合わせがあることを知ることが出来た。但し、理解十分でできなかった。
- ・金銭面の事が問題になる方は沢山いるので、制度のことは知るの大切だと思う。
- ・経済困窮者が増えていて、課題が多く、一つ一つ解決していくにはとても大変です。今回の事例では他職種の視点から本人、家族様にとってより良い支援に尽力をつくした姿が垣間見れました。また、地域の開業医の先生や荘内病院との関わりも感じ取られました。薬価のことも知れ、とても勉強になりました。ありがとうございました。

